

第1回「新スポーツ推進計画（仮称）」策定委員会議事要旨

1 日 時

令和元年7月9日（火）10：30～11：30

2 会 場

岐阜県議会棟3階執行部控室

3 出席委員

大友克之委員（委員長）、安田和夫委員、西本裕委員、増田和伯委員、岡本敏美委員、渡邊丈展委員、堤卓雄委員、野田正明委員、波賀野里美委員、村木和人委員

4 会議の形態

非公開

5 議 題

- (1) 「清流の国ぎふスポーツ推進計画」について
- (2) 「新スポーツ推進計画（仮称）」策定までの流れ及びスケジュールについて
- (3) 意見交換

6 議事要旨

- (1) 「清流の国ぎふスポーツ推進計画」について
(事務局)
 - ・ 現行のスポーツ推進計画について説明。(委員長)
 - ・ 現行のスポーツ推進計画策定に関わっていただいた方もご臨席であると理解しているが、国が定めた資料1－3あるいは1－4を次の計画を策定していく上で改めてご確認いただきながら進めていただきたい。
- (2) 「新スポーツ推進計画（仮称）」策定までの流れ及びスケジュールについて
(事務局)
 - ・ 策定までの流れ及びスケジュールについて説明。(委員)
 - ・ 2016年から19年における実績を振り返ると、先の国体から今回の国体まで、そしてその後から今とすると、国体の後がどうなったかというだけでなく、前の国体から今回の国体でどう変わったか、あるいは前のオリンピックから今度のオリンピックでどうなったかという、もう少し大きなところで

の変化という視点を踏まえることが重要。その間に社会の変化・人口減少という背景を踏まえて、次の国体に向けた第1歩という位置づけも今後必要になってくる。そのためにも、これまでの取り組みが分かる資料があるとその先を組み立てやすい。この4年間、5年間も大切であるが、プラスもっと広い流れというものも検討していただくと良いと思う。

(委員)

- ・スポーツ少年団は前の東京オリンピックの時にできた。それからほとんどの市町村にスポーツ少年団はできてきたが、近年その組織率は減ってきた。それは少年団が減ってきたというより、学校教育以外でスポーツに親しむ・スポーツをする子供そのものの割合が減ってきていることにつながっているように思う。そういう中でオリンピック以後の姿として、県体協の指導の下、地域スポーツ化に向けて、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団が双方の研修会に参加し合いながら、取り組みや、お互いを知り始めたり学び合ったりし始めた。そういう関係性や、今後はさらに中学校部活動（あるいは高校部活動）が地域スポーツ化という岐阜県らしさが出てくるようなプランができると思う。

(委員)

- ・新しい推進計画はポスト東京オリンピックと思う。過去を振り返ると、昭和39年が東京オリンピック、その翌年に岐阜国体があった。そこで全国も岐阜県も、スポーツの機運が高まった。国体も素晴らしい大会で終わった。そのあといくつか全国的なイベントがあったにせよ、競技人口や成績も落ち、それがまた、平成に入ってから岐阜国体でスポーツ熱が盛り上がり、そこにまた東京オリンピックが決まり、勢いが落ちずに今にいたっている。来年の東京オリパラが終わると、次の国体までずいぶん先である。次のオリンピックもいつになるか分からない。この間、岐阜県でも全国的にもスポーツ熱をどうやって維持していくか。当時の社会情勢と全く違う環境にあるので、現状・過去の分析をきちんとし、反省すべきところは謙虚に反省する必要がある。昭和の岐阜国体から改善されていない課題として、指導者育成や県外流出などは、清流国体でも解決できず残されている。国体の成績は良かったが、うまくいった部分もあれば、なかなかうまくいかなかった部分もあるので、きちんと検証して東京オリンピック以降のスポーツ推進にどうやって関わっていくかということにつながっていく必要があるのではないかな。

(委員)

- ・清流の国スポーツ推進条例には、全国初で「レクリエーション」が生涯スポーツとして位置付けられており、全国レク、ねんりんピックを通してレクリエーションに携わる1人1人の健康長寿につながっている。国も健康寿命・

健康長寿社会を目指している。健康長寿＝レクリエーションとして、新計画ではさらにレクリエーションスポーツを高め、その実施率を上げていこうと思う。地域スポーツという大きな柱の中の1つに健康長寿というような高齢者をターゲットとする文言も必要になってくるのではないかと思う。

(委員長)

- ・ 様々なご意見を頂戴した。これを受けた形で、新スポーツ推進計画（仮称）の策定までの流れ及びスケジュールについてご承認いただける方は拍手をお願いします。

(各委員)

- ・ 承認

(委員長)

- ・ 続いて、議題（3）意見交換となるが、本日配付された資料をご覧くださいとお判りいただけるとおり、様々な施策、また、幅広い内容となっている。現行の「清流の国スポーツ推進計画」に対するご質問、新たに策定する計画に対するご要望・方向性等、策定に関わるご意見については、お手元の資料を精読いただき、特にご自分の専門分野等に関わる場所について、メールにてご意見を頂けたらと思う。7月17日までをお願いします。

(事務局)

- ・ 資料3の説明。

(委員長)

- ・ 資料3をご覧くださいと、それぞれ進行していく中でご覧のようなご意見・ご提言をいただいている。次の計画の中にすぐに活かしていけるものか、まだ社会情勢もそこまで来ていないかなというものもあるが、こういった意見もできる限り反映させていきたいと思う。

(以上)